

Q&A

偶発的に認められた単発・充実性脾腫瘍の1例

【問題】

症例：70歳代男性。

主訴：なし。

現病歴：健診のCTにて脾腫瘍を指摘され、精査目的に当院紹介受診となった。

既往歴：肺気腫。

家族歴：特記事項なし。

飲酒歴：日本酒1合、2～3回/週。

喫煙歴：20本/日、20歳～現在。

血液検査所見：WBC 5190/ μ L, RBC 444×10^4 / μ L, Hb 13.2g/dL, Hct 40.0%, Plt 24.6×10^4 / μ L,

TP 7.3g/dL, Alb 4.0g/dL, AST 18IU/L, ALT 11IU/L, LDH 260IU/L, γ -GTP 9IU/L, ALP 193IU/L, T-bil 0.8mg/dL, D-bil 0.4mg/dL, Na 141mEq/L, K 4.3mEq/L, Cl 105mEq/L, BUN 20.7mg/dL, Cr 0.78mg/dL, PT 83%, PT-INR 1.10, APTT 35.4sec.

画像所見：初診時の腹部造影CT検査, PET-CT検査, 超音波内視鏡検査の画像をFigure 1に示す。

1. 脾腫瘍の鑑別は？
2. 診断を確定するには？

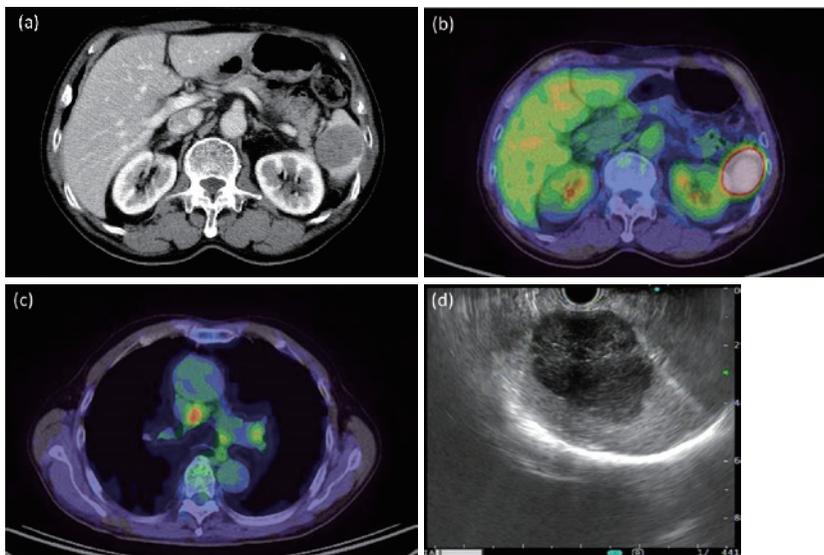


Figure 1. (a) 初診時造影CT, (b, c) PET-CT, (d) 超音波内視鏡検査.